

**【速報】 ミャンマーの最新情勢（9月13日）**  
～ヤンゴンから～

2021年9月13日

ミャンマービジネスサポートデスク 西垣 充

ミャンマー国内全土に渡る新規コロナウイルス感染拡大を受けて、国家統治評議会は、7月17日以降を新型コロナウイルス感染症対策のため公休日に指定し、9月12日まで公休日が延長されましたが、それ以降は延長されなくなりました。新規感染者は一定数いるものの、8月中旬以降落ち着きを見せはじめ、現在は一時期に比べ減少傾向にあります。一時帰国している日本人駐在員からもヤンゴン渡航希望者が増え、10月の救援便は2便増便され4便が運航される予定です。8月に入り中国製ワクチンの接種が再開され、職域接種が一部で行われてきています。

9月7日に国民統一政府(NUG)が国軍への攻撃を行うことを示唆する緊急事態宣言を発表しました。現時点でヤンゴン市内に大きな変化は見られていないものの、継続的に爆発事件などは見られ、地方の一部では衝突が激化しているところもあるようです。

**① テレビ**

国軍系放送、国営放送、民間放送については、2月2日の状況通り。民間の大手衛星放送「SKYnet」では、多くの海外放送のニュースチャンネルが視聴できなくなっていますが、「NHKプレミアム」と「CCTV4」は視聴できます。海外放送では、スポーツや音楽、映画チャンネルのうち、FOX系、HBO系が視聴できなくなっています。

**② インターネット**

光回線やWIFI(ワイヤレス・ブロードバンドサービス)、携帯電話データ通信などは復旧しており、深夜の遮断もなくなっています。ただ、フェイスブック、ツイッター、インスタグラムなどのSNSは閲覧できなくなっています。携帯電話データ通信では、政府が許可するアプリ(ZOOM、LINEやSkype等約1200)のみアクセスが可能になっています。

**③ 電話その他通信関係**

いずれの携帯電話会社も通話及びSMSは問題なく使用できています。

**④ 日常生活での支障**

大型ショッピングセンターの「ジャンクション」「ミャンマープラザ」内店舗の食料品等生活必需品取扱店以外は7月17日の公休日以降休業しているところが多かったのですが、コロナ感染拡大が落ち着きはじめた8月中旬頃から徐々に再開する店舗が増えています。大手流通小売り「City Mart」、タイ系小売り・卸「Makro」や大型ホームセンター「PRO1」などは時短で営業しています。宅配デリバリーサービスは、多くの店舗で利用可能となっています。「GrabFood」と「GrabMart」は午前8時から午後7時まで営業しています。ヤンゴン市内レストランではコロナ感染対策により7月5日から店内飲食が禁止されテイクアウトのみとなっています。

一般のローカル市場及びコンビニエンスストア、一般店舗などは、食料品等生活必需品を取り扱う一部店舗を除き7月17日の公休日以降休業していましたが、一部7月26日以降営業再開するところが出始め、コロナ感染拡大が落ち着きはじめた8月中旬以降徐々に再開してきています。

中央銀行は市中銀行すべてに対し、ATMでの一回の引き出し額を50万チャット(約33,262円)まで、口座からの引き出し額を一週間で個人は200万チャット(約133,050円)まで、企業は2000万チャット(約1,330,500円)までと制限する通達を発表しました。

ただ、一回の引き出し可能金額は、金融機関や各支店により異なっており、20万チャット(約13,305円)から30万チャット(約19,957円)くらいのところが多いようです。行員の感染などにより作動していないATMが多く、ATM前は以前よりも行列ができていますが、ATMの現金補充は追いついておらず、現金引き出しは困難な状況が続いています。市中銀行について、窓口業務を依頼する場合は、アプリによる事前受付制になっています。日本からの送金も問題ありませんが、米ドル現金引き出しは難しい状況が続いています。

2月8日にヤンゴン地域における公共の場での5人以上の集会禁止令が、5月4日に同地域における午後10時から午前4時までの夜間外出禁止令が発表されています。

#### ⑤ 日系企業の対応

従業員が感染する企業が多く出ており、7月17日の公休日以降休業するところが多かったようですが、7月26日以降は従業員の健康状態をみながら在宅勤務を開始する企業が増えてきているようです。

#### ⑥ 公共交通機関

##### <国際線・国内線>

国際線旅客機の着陸禁止措置は続いています。各国からの救援便、貨物便などは運航されています。ミャンマーから日本への商用便として、全日空直行便、クアラルンプール経由・週3便、仁川経由・週2便に限られており、出国の際は陰性証明書が必要となっています。シンガポール政府から、7月16日以降次の発表があるまで、過去21日間にミャンマーに滞在歴がある渡航者のシンガポールへの入国及びシンガポールでの乗換えを禁止する旨発表がありました。国内線は、コロナ感染拡大により一部運航停止している航空会社もありますが、便数は少ないものの運航されているようです。

##### <バス>

ヤンゴン市内バスは減便運航され、7月17日の公休日以降大幅に運航数が減っていましたが、コロナ感染拡大が落ち着きを見せ始めた8月中旬以降徐々に運航数は増えてきています。

##### <タクシー>

一般タクシーは通常通りですが、燃料費の高騰により値段は上がっているようです。大手配車アプリGRABタクシーは、7時~20時まで営業しています。

#### ⑥ 物流

国際宅配便DHL、EMSともフライト状況で発送・着送されるようです。国内物流は動いていますが、燃料費の高騰により、輸送費が上昇しています。タイ国境などへの物流も基本的には稼働しているようです。

港湾局の業務は通常通り行われており、海上輸送、輸出入に関しては船の便数、コンテナ数が大幅に減少しており、燃料費の高騰なども重なり、輸送費が以前の3倍近くになっているようです。航空貨物は動いているようです。

#### ⑦ 工場稼働状況

9月13日のティラワ工業団地内工場は7割程度、ミンガラドン工業団地内工場は9割程度が稼働しているようです。また、ラインタヤ工業団地内の工場、シュエピータ工業団地内の工場も多くが稼働しているようです。いずれも、従業員の健康状態に合わせ、各社就業時間、出勤者に配慮しながら対応しています。

#### 【大阪産業局ミャンマービジネスサポートデスク】

受託事業者: J-SAT Co., Ltd. 代表取締役 西垣 充

#1210, 12A Floor, Sakura Tower, No.339,

Bogyoke Aung San Road, Kyauktada T/S, Yangon, Myanmar

バックナンバー [https://www.obda.or.jp/events/ibo\\_events\\_all/overseas-from-myanmar](https://www.obda.or.jp/events/ibo_events_all/overseas-from-myanmar)